

群馬パース大学 学則

(前 文)

本学の建学の意義は、地域社会の中で求められ続けてきた「質の高い保健医療サービス」の確立とその貢献にある。地域に存する本学では「人間愛・生命の尊厳と人間尊重とは何か」ということを共同生活を通して希求し、心身ともに調和のとれた有為な社会人を育成することを使命とする。さらに、大学教育がいかに臨床の現場で活かされるかによって計られるべき教育・研究の価値を常に認識させしめ、専門職教育における臨床との連携を重視し、実践的能力、判断力涵養の重要性を本学において教授し、保健医療の深遠を探究せしめるものである。

このような建学の主旨にもとづき、群馬パース大学学則を定める。

第 1 章 目 的

(目 的)

第 1 条 群馬パース大学（以下、「本学」という。）は、教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）の定めるところにより、豊かな教養と人間愛を備えた質の高い保健医療専門職を育成し、保健・医療・福祉サービスとの協働及び知の創造を通じて、国際社会、地域社会に貢献することを目的とする。

第 2 章 自己点検・評価等

(自己点検・評価等)

第 2 条 本学は、その教育研究水準の改善・向上を図り、前条に掲げる目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果について公表する。

- 2 前項の点検及び評価の結果について、一定期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた評価機関（以下、「認証評価機関」という。）による評価を受けるものとする。
- 3 本学は、教育研究活動等の状況、自己点検・評価、認証評価機関の評価結果について、刊行物、広報活動等において、積極的に情報を提供するものとする。
- 4 本条第 1 項の点検及び評価に関する事項は別に定める。

第3章 組 織

第1節 組 織

(学 部)

第3条 本学に、次の学部及び学科を置く。

保健科学部
看護学科
検査技術学科
放射線学科
臨床工学科
リハビリテーション学部
理学療法学科
作業療法学科
言語聴覚学科

- 2 前項の各学科の入学定員及び収容定員は、別表第1のとおりとする。
- 3 学部及び学科ごとの人材の養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的については、別に定めるとおりとする。

(附属図書館)

第4条 本学に、附属図書館を置く。

- 2 附属図書館に関する規程は、別に定める。

(附属研究所)

第5条 本学に、附属研究所を置く。

- 2 附属研究所に関する規程は、別に定める。

第2節 職員組織

(教 員)

第6条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教及び助手（以下、「教員」という。）を置く。

- (1) 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。
- (2) 教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- (3) 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指

導し、又は研究に従事する。

(4) 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。

(5) 助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有するものであって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(6) 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。

2 前項のほか、本学に学部長、学科長を置く。

(1) 学部長は、当該学部に関する校務をつかさどる。

(2) 学科長は、当該学科の学務を行う。

3 前第2項のほか、教養部責任者を置く。

(1) 教養部責任者は、教養教育、初年次教育に関わる学務を行う。

4 本学に、副学長、名誉教授、特任教授、客員教授、客員准教授を置くことができる。

(事務職員)

第7条 本学に、事務局長を置く。

2 前項のほか、本学に事務職員、技術職員及びその他必要な職員を置く。

(教授会)

第8条 本学に教授会を置く。

2 教授会は、学長、教授及び事務局長をもって構成する。

3 前項の規定にかかわらず、教授会が必要と認めたときは、副学長、准教授、講師、助教、及び特任教授、客員教授、客員准教授、その他職員を加えることができる。

4 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

5 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

6 その他教授会に関する規程は、別に定める。

第4章 学年・学期及び休業日

(学 年)

第9条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第10条 学年を次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第11条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 土曜日及び日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 本学の創立記念日 11月30日

(4) 夏季休業日 当該年間学事日程による

(5) 冬季休業日 当該年間学事日程による

(6) 春季休業日 当該年間学事日程による

- 2 前項に規定する休業日において、学長が必要と認めるときは、授業を行うことができる。必要がある場合は、学長は、前項の休業日を変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

第5章 学部通則

第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第12条 学部の修業年限は4年とする。

(最長在学年限)

第13条 学生は、8年を超えて在学することができない。ただし、編入学、転入学及び再入学した学生は、その者の在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第2節 入 学

(入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。

ただし、転入学及び再入学については、学期の初めとすることができる。

(入学資格)

第 15 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(入学の志願)

第 16 条 本大学への入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び、別に定める書類を添えて願出しなければならない。

(入学者の選考)

第 17 条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第 18 条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、入学誓約書、その他所定の書類を提出するとともに、別に定める入学金及び授業料を納付しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に教授会の議を経て入学を許可する。

(保証人)

第 19 条 入学にあたり保証人は 2 名を必要とし、1 名は原則として父母の何れかとする。他の 1 名は、独立の生計を営む者で授業料等の債務を確実に履行できる者でなければならない。

- 2 保証人に異動があった時は、直ちに学長に届け出なければならない。

(編入学)

第 20 条 学長は、本学に編入学を志願する者があるときは、選考のうえ、教授会の議を経て相当する年次に入学を許可することがある。

(転入学・転科)

第 21 条 学長は、他大学の学生で転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て相当年次に入学を許可することがある。

- 2 学長は、本学の学生で、同一学部の他の学科へ転科を希望する者があるときは、選考のうえ、教授会の議を経て 1 学年後期の初めに限り転科を許可することがある。

(再入学)

第 22 条 学長は、第 42 条の規定により退学した者が再入学を志願するときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て入学を許可することがある。

2 再入学に関する規程は別に定める。

第 3 節 教育課程及び履修方法等

（教育課程の編成方針）

第 23 条 本大学においては、学部及び学科等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。

2 教育課程の編成に当たっては、当該学部及び学科に係る専門の知識・技能を教授するとともに、広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう配慮する。

3 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に努めるものとする。

（授業科目）

第 24 条 授業科目を分けて、教養科目群、共通基盤科目群、専門基礎科目群、専門科目群とする。授業科目及び単位数は別表第 2 のとおりとする。

（単位計算方法）

第 25 条 授業科目の単位計算方法は 1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮し授業の方法に応じ、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義・演習については、15 時間から 30 時間までの範囲の授業をもって 1 単位とする。

(2) 実験・実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲の授業をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究については学修の成果を評価して単位を授与することが適切であると認められる場合には、これに必要な時間数を考慮して 1 単位とする。

（授業期間）

第 26 条 1 年間の授業を行う期間は、定期試験等を含め 35 週にわたることを原則とする。

（履修届の提出）

第 27 条 学生は、学年の始めに履修しようとする授業科目について、指定の期日まで

に学長に届け出て、その承認を得なければならない。

(単位の授与)

第 28 条 本学は、授業科目を履修した場合には成績の評価を行い、合格者に対して、所定の単位を与える。

(試験の方法)

第 29 条 試験は、筆答（報告を含む。）又は口頭によって行う。ただし、実習、実技、実験等は学修の成果を評価して行うことができる。

(他大学等における授業科目の履修等)

第 30 条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該大学又は短期大学等の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項の規定により履修した授業科目について取得した単位については、教授会の議を経て、60 単位を限度として卒業要件単位として認めることができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

第 31 条 教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(入学前の既取得単位等の認定)

第 32 条 教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について取得した単位（科目等履修により取得した単位を含む。）を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて 60 単位を超えないものとする。

(本学以外での履修の許可)

第 33 条 本学の学生が、本学以外の大学等で授業科目の履修を希望する場合は、学長の許可を得なければならない。

(本学以外で履修した科目及び単位の取り扱い)

第 34 条 本学以外で修得した科目の単位の取り扱いは別に定める。

(成 績)

第 35 条 授業科目の試験の成績は、A⁺、A、B、C、F（不可）をもって表わし、C 以上を合格とする。

(その他)

第 36 条 授業科目の履修方法等については別に定める。

第 4 節 休学・転学・留学及び退学

(休 学)

第 37 条 疾病その他特別の理由により 3 ヶ月以上修学することができない者は、その理由を明らかにし、保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。

- 2 疾病による理由の場合には、医師の診断書を添付しなければならない。
- 3 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学期間)

第 38 条 休学期間は、1 年以内とする。ただし、特別な理由がある場合は、1 年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学の期間は、通算して 4 年を超えることができない。
- 3 休学期間は、第 13 条の在学期間に算入しない。

(復 学)

第 39 条 休学期間の満了により復学するときは、学長に復学の届出をしなければならない。

- 2 休学期間中にその事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

(転 学)

第 40 条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(留 学)

第 41 条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、第 12 条に定める修業年限に算入することができる。
- 3 第 30 条の規定は、外国の大学又は短期大学へ留学する場合に準用する。

(退 学)

第 42 条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除 籍)

第 43 条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- (1) 授業料の納付を怠り、催促してもなお納付しない者
- (2) 第 13 条に定める在学年限を超えた者
- (3) 第 38 条に規定する休学期間を超えてなお修学する見込みがない者
- (4) 死亡又は長期にわたり行方不明の者
- (5) 疾病その他の理由により成業の見込みがないと認められた者

第 5 節 卒業及び学位

(卒 業)

第 44 条 本学に 4 年以上在学し、別表第 2 に定める授業科目を履修し所定の単位を修得した者について、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- 2 学長は、卒業を認定した者に対して、学位記を授与する。

(学位授与)

第 45 条 学長は、前条の規定により、卒業を認定した者に次の学士の学位を授与する。

保健科学部

看護学科	学士（看護学）
検査技術学科	学士（臨床検査学）
放射線学科	学士（放射線学）
臨床工学科	学士（臨床工学）

リハビリテーション学部

理学療法学科	学士（理学療法学）
作業療法学科	学士（作業療法学）
言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）

- 2 学位の授与に関し必要な事項は別に定める。

第 6 節 賞 罰

(表 彰)

第 46 条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が表彰することができる。

(懲 戒)

第 47 条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、「群馬パース大学 学生の懲戒等に関する規程」に基づき、学長が懲戒する。

第 7 節 研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び外国人留学生

(研究生)

第 48 条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者がいるときは、学部の教育研究に支障がない場合に限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生を志願することができる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研究期間は 1 年とする。ただし、特別の理由がある場合はその期間を更新することができる。

(科目等履修生)

第 49 条 本学の学生以外の者で、本学の一又は複数の授業科目の履修を志願する者がいるときは、学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することがある。

(聴講生)

第 50 条 本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者がいるときは、本学の教育に支障がない限りにおいて選考のうえ聴講生として入学を許可することがある。

- 2 聴講生は学期ごとに入学を許可する。

(特別聴講学生)

第 51 条 他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者がいるときは、当該他大学との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することがある。

(外国人留学生)

第 52 条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者がいるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することがある。

- 2 前項の外国人留学生に対しては、第 24 条に掲げるもののほか、日本語科目

及び日本事情に関する科目を置くことができる。

(その他)

第 53 条 研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、及び外国人留学生に関する規則は、別に定める。

第 8 節 検定料、入学金及び授業料

(検定料、入学金及び授業料)

第 54 条 検定料、入学金及び授業料の額は「群馬パース大学 授業料等徴収に関する規程」の通りとする。

(授業料の納付)

第 55 条 授業料は、年額又は二分の一ずつを次の 2 期に分けて納付しなければならない。

区 分	納 期
前期（4月から9月まで）	4月中
後期（10月から翌年3月まで）	10月中

(復学等の場合の授業料)

第 56 条 前期又は後期の中途において復学した者は、復学した月から当該期末までの授業料を復学した月に納付しなければならない。

(学年の途中で卒業する場合の授業料)

第 57 条 学年の途中で卒業する見込みの者は卒業する見込みの月までの授業料を納付するものとする。

(退学及び停学の場合の授業料)

第 58 条 前期又は後期の中途で退学し又は除籍された者の該当期分の授業料は徴収する。

2 停学期間中の授業料は徴収する。

(休学の場合の授業料)

第 59 条 休学を許可され又は命ぜられた者については、休学期間に限り入学時に定められた授業料の 8 割を減免する。

(科目等履修生等の授業料等)

第 60 条 科目等履修生及び特別聴講学生の検定料及び授業料については、別に定める。

(納付した授業料等)

第 61 条 納付した検定料、入学金及び授業料は返付しない。

第 9 節 公開講座

(公開講座)

第 62 条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関する事項については、別に定める。

第 6 章 改正、及び細則

(改正)

第 63 条 本学則の改正は、理事会が行う。

(細則その他)

第 64 条 本学則施行についての細則その他必要な事項は、別に定める。

附則

1. この学則は、平成 17 年 5 月 1 日から施行し、平成 17 年 4 月 1 日から適用する。

附則

1. この学則は、平成 18 年 11 月 30 日から施行する。ただし、第 6 条第 1 項 3 号から 5 号及び第 4 項の規定は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附則

1. この学則改正後の第 44 条第 2 項及び第 45 条第 2 項の規定は、平成 20 年 12 月 4 日から施行する。
2. この学則改正後の第 15 条第 1 項 3 号、第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項、第 54 条第 1 項の規定は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
3. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項、第 54 条第 1 項の規定は、平成 21 年度入学生から適用し、平成 20 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 2、3 に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認められた授業科目については、平成 20 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附則

1. この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項の規定は、平成 24 年度入学生から適用し、平成 23 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 2、3 に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認めた授業科目については、平成 23 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項、第 54 条第 1 項の規定は、平成 25 年度入学生から適用し、平成 24 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。
ただし、別表第 2、3 に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認めた授業科目については、平成 24 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項の規定は、平成 26 年度入学生から適用し、平成 25 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 3 に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認めた授業科目については、平成 25 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 54 条第 1 項の規定は、平成 27 年度入学生から適用し、平成 26 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。

附則

1. この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項の規定は、平成 28 年度入学生から適用し、平成 27 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 4 に掲げる授業科目のうち、教授会の議を経て学長が特に必要と認めた授業科目については、平成 27 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項の規定は、平成 29 年度入学生から適用し、平成 28 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 2、3、4 に掲げる授業科目のうち、教授会の議を経て学長が特に必要と認めた授業科目については、平成 28 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項の規定は、平成 30 年度入学生から適用し、平成 29 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 4 に掲げる授業科目のうち、教授会の議を経て学長が特に必要と認めた授業科目については、平成 29 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、2020 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項の規定は、2020 年度入学生から適用し、2019 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 3 に掲げる授業科目のうち、教授会の議を経て学長が特に必要と認めた授業科目については、2019 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、2021 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 3 条、第 24 条、第 44 条第 1 項、第 45 条の規定は、2021 年度入学生から適用し、2020 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。

別表第1 入学定員及び収容定員

学部・学科名	入学定員	収容定員	備考
	人	人	
保健科学部			
看護学科	80	320	
検査技術学科	60	240	
放射線学科	70	280	
臨床工学科	50	200	
リハビリテーション学部			
理学療法学科	60	240	
作業療法学科	30	120	
言語聴覚学科	30	120	
計	380	1,520	

別表第2 授業科目

保健科学部 看護学科

領域		授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
			必修	選択	
教養科目群	心身の発達	心理学	2		29 単位以上
		教育学	2		
		教育心理学		2	
	人と社会及び表現	健康スポーツ理論		1	
		健康スポーツ実技		1	
		生命倫理	2		
		哲学		2	
		現代文学		2	
	人間と生活及び社会のしくみ	人間と宗教		2	
		芸術		2	
法学(日本国憲法含む)		2			
社会学			2		
生活文化と医療			2		
自然の原理及び環境	経済学		2		
	地域ボランティア活動論		1		
	環境学	2			
	生物学 A		1		
	生物学 B		1		
	数学 A		1		
	数学 B		1		
	化学 A		1		
	化学 B		1		
	物理学 A		1		
物理学 B		1			
情報と言語の理解	英語	英語リーディング	1		
		医療英語会話	1		
		医療英語リーディング	1		
		英語会話		1	
		英語アカデミックリーディング・ライティング		1	
	初修外国語	中国語		1	
		韓国語		1	
		ドイツ語		1	
		ポルトガル語		1	
情報	情報処理	1			
	情報リテラシー		1		
	囲碁で学ぶ情報戦略		1		
共通基盤科目群	大学の学びの基盤	大学の学び入門	1		
		大学の学び-専門への誘い-	1		
		多職種理解と連携	1		

領域		授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
			必修	選択	
専門基礎科目群	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	解剖学Ⅰ	1		15 単位以上
		解剖学Ⅱ	1		
		臨床解剖学		1	
		生理学Ⅰ	1		
		生理学Ⅱ	1		
		臨床生理学		1	
		生化学	1		
		病理学	1		
		臨床病態学Ⅰ	1		
		臨床病態学Ⅱ	1		
		臨床病態学Ⅲ	1		
		臨床病理学		1	
		免疫・感染症学	1		
		薬理学	1		
		臨床薬理学		1	
		臨床検査学	1		
		緩和医療学		1	
		栄養学（含食品学）	1		
		病態栄養学		1	
		発達心理学	1		
臨床心理学		1			
健康支援と社会保障制度	公衆衛生学	2		5 単位以上	
	疫学		1		
	保健統計		1		
	社会福祉・社会保障制度論	1			
	地域保健行政		2		
	歯科保健		1		
	リハビリテーション概論		1		
	カウンセリング	1			

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門科目群	基礎看護学	看護学概論Ⅰ	1		48 単位以上
		看護学概論Ⅱ	1		
		看護援助学概論	1		
		日常生活援助学演習	2		
		治療援助学演習	2		
		看護援助学総合演習	1		
		看護過程論	1		
		看護過程論演習	1		
		基礎看護学特論		1	
		成人看護学	成人看護学概論	1	
	成人看護学総論		1		
	成人看護方法論Ⅰ		1		
	成人看護方法論Ⅱ		1		
	周手術期看護論		1		
	クリティカルケア看護論		1		
	成人看護学演習		1		
	救急法			1	
	成人看護学特論			1	
	老年看護学	老年看護学総論	1		
		老年看護方法論Ⅰ	1		
		老年看護方法論Ⅱ	1		
老年看護学演習		1			
老年看護学特論			1		
看護学 小児	小児看護学総論	1			
	小児看護方法論	1			
	小児看護学演習	2			
	小児看護学特論		1		
母性看護学	母性看護学総論	1			
	母子の健康支援	1			
	母性看護方法論	1			
	母性看護学演習	1			
	母性看護学特論		1		
精神看護学	精神保健	1			
	精神看護学総論	1			
	精神看護方法論	1			
	精神看護学演習	1			
	精神看護学特論		1		
統合分野	在宅看護学概論	1			
	在宅看護方法論Ⅰ	1			
	在宅看護方法論Ⅱ	2			
	臨床看護管理学	1			
	災害看護論	1			
	国際看護論	1			

領域		授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
			必修	選択	
専門科目群	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2		(48 単位以上)
		公衆衛生看護学方法論		2	
		公衆衛生看護学技術演習		1	
		公衆衛生看護学活動展開論		2	
		対象別公衆衛生看護学活動論Ⅰ		1	
		対象別公衆衛生看護学活動論Ⅱ		1	
		公衆衛生看護学管理		1	
	助産学	助産学概論		1	
		助産基礎医学		1	
		母子と家族の心理・社会学		1	
		周産期診断学		1	
		妊娠期助産診断技術学		1	
		分娩期助産診断技術学		2	
		産褥期助産診断技術学		1	
		新生児・乳幼児期助産診断技術学		1	
		助産診断技術学演習		2	
	助産管理		2		
臨地実習	臨床看護分野	基礎看護学実習Ⅰ	1		23 単位以上
		基礎看護学実習Ⅱ	2		
		成人看護学慢性期実習	3		
		成人看護学急性期実習	3		
		老年看護学実習	4		
		小児看護学実習	2		
		母性看護学実習	2		
		精神看護学実習	2		
	統合分野	在宅看護学実習	2		
		総合実習	2		
公衆衛生看護学分野	公衆衛生看護学実習		5		
助産学分野	助産学実習		11		
研究	看護研究概説	1		5 単位	
	卒業研究	4			

保健科学部 検査技術学科

領域		授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
			必修	選択	
教養科目群	心身の発達	心理学		2	23 単位以上
		教育学		2	
		教育心理学		2	
	思想及び表現	健康スポーツ理論		1	
		健康スポーツ実技		1	
		生命倫理	2		
	人と社会及び自然の理解	哲学		2	
		現代文学		2	
		人間と宗教		2	
		芸術		2	
法学(日本国憲法含む)			2		
人間と生活及び社会のしくみ	社会学		2		
	生活文化と医療		2		
	経済学		2		
	地域ボランティア活動論		1		
	自然の原理及び環境	環境学		2	
		生物学 A		1	
		生物学 B		1	
		数学 A		1	
		数学 B		1	
		化学 A		1	
化学 B			1		
物理学 A			1		
物理学 B		1			
情報と言語の理解	英語	英語リーディング	1		
		医療英語会話	1		
		医療英語リーディング	1		
		英語会話		1	
		英語アカデミックリーディング・ライティング		1	
	初修外国語	中国語		1	
		韓国語		1	
		ドイツ語		1	
		ポルトガル語		1	
	情報	情報処理	1		
情報リテラシー			1		
囲碁で学ぶ情報戦略			1		
共通基盤科目群	大学の学びの基盤	大学の学び入門	1		
		大学の学び-専門への誘い-	1		
		多職種理解と連携	1		

領域		授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
			必修	選択	
専門基礎科目群	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	1		21 単位以上
		解剖学Ⅱ	1		
		解剖学実習	1		
		生理学Ⅰ	1		
		生理学Ⅱ	1		
		生理学実習	1		
		生化学	1		
	健康と医療と社会	医学概論	2		
		病理学	1		
		薬理学	1		
		公衆衛生学	2		
		臨床医学特殊講義		1	
		内科学	1		
		老年医学		1	
		遺伝と病気	2		
		感染と免疫	1		
		カウンセリング		1	
		リハビリテーション概論		1	
		臨床心理学		1	
		生体計測工学		1	
		国際医療協力論		1	
		医療統計学		1	
		社会福祉・地域サービス論		1	

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
		必修	選択	
専門科目群	解析検査学 臨床病態	臨床検査解析学 (Reversed CPC) I	1	
		臨床検査解析学 (Reversed CPC) II	1	
		臨床検査医学	2	
		電気泳動分析病態解析学	2	
		ピットフォール解析学	2	
	検査学 生体機能	生理機能画像検査学	2	
		生理機能画像検査学実習	2	
		画像解析検査学	2	
		医用電子工学	1	
		医用電子工学実習	1	
検査総合管理学	臨床検査学総論	2		
	臨床検査学総論実習	2		
	関係法規	1	1	
	医療システムとマネジメント			
	情報科学概論	2		
	医療安全管理学演習	1		
	臨床検査学総合演習 I	3		
臨床検査学総合演習 II	4			
防御検査学 病因・生体	免疫検査学	2		
	免疫検査技術学実習	2		
	輸血検査学	1		
	微生物検査学	2		
	微生物検査学実習	2		
生物化学分析検査学	機器分析化学	2		
	臨床化学検査学	2		
	臨床化学検査学実習	2		
	健康食品学		2	
	食品衛生学		2	
	遺伝子検査学	2		
	遺伝子検査学実習	2		
	遺伝子工学		1	
RI 検査学	1			
形態検査学 形態・病態	血液検査学	2		
	血液検査学実習	2		
	病理細胞検査学	2		
	病理細胞検査学実習	2		
	医動物学	2		
	生殖医療技術学		2	
臨地実習	臨地実習	7		
	卒業研究	8		

81 単位以上

保健科学部 放射線学科

領域		授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
			必修	選択	
教養科目群	心身の発達	心理学	2		23 単位以上
		教育学		2	
		教育心理学		2	
		健康スポーツ理論		1	
	健康スポーツ実技	1			
	思想及び表現	生命倫理	2		
		哲学		2	
		現代文学		2	
		人間と宗教		2	
	芸術	2			
人と社会及び自然の理解 人間と生活及び 社会のしくみ	法学(日本国憲法含む)		2		
	社会学		2		
	生活文化と医療		2		
	経済学		2		
	地域ボランティア活動論		1		
	環境学		2		
自然の原理及び環境	生物学 A		1		
	生物学 B		1		
	数学 A		1		
	数学 B		1		
	化学 A		1		
	化学 B		1		
	物理学 A		1		
	物理学 B		1		
情報と言語の理解	英語	英語リーディング	1		
		医療英語会話	1		
		医療英語リーディング	1		
		英語会話		1	
		英語アカデミックリーディング・ライティング		1	
	初修外国語	中国語		1	
		韓国語		1	
		ドイツ語		1	
		ポルトガル語		1	
	情報	情報処理	1		
情報リテラシー		1			
囲碁で学ぶ情報戦略		1			
共通基盤 科目群	大学の 学びの基盤	大学の学び入門	1		
		大学の学び-専門への誘い-	1		
		多職種理解と連携	1		

領域		授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
			必修	選択	
専門基礎科目群	基礎医学系	解剖学Ⅰ	1		33 単位以上
		解剖学Ⅱ	1		
		生理学Ⅰ	1		
		生理学Ⅱ	1		
		病理学	1		
		薬理学	1		
		生化学	1		
		公衆衛生学	2		
	臨床医学系	内科学		1	
		看護技術論	1		
		臨床心理学		1	
		画像診断学Ⅰ		2	
		画像診断学Ⅱ		2	
	医療理工学系	医療基礎生物学		1	
		医療基礎数学		1	
		医療基礎化学		1	
医療基礎物理学		1			
医療電気・電子工学Ⅰ		2			
医療電気・電子工学Ⅱ			2		
医療電気・電子工学演習			1		
医療電気・電子工学実験		1			
医療統計学		1			
放射線科学系	放射線医療学概論	2			
	放射線救急医学		1		
	放射線文献講読Ⅰ		1		
	放射線文献講読Ⅱ		1		
	放射線物理学Ⅰ	2			
	放射線物理学Ⅱ	2			
	放射線物理学演習		1		
	放射化学	2			
	放射化学演習		1		
	放射線生物学	2			
	放射線生物学演習		1		
	放射線計測学Ⅰ	2			
	放射線計測学Ⅱ	1			
放射線計測学演習		1			
放射線計測学実験	1				

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門科目群	放射線診療学	診療放射線学概論	2		72 単位以上
		診療画像検査学概論	2		
		診療放射線学実習直前演習	1		
		診療放射線学総合臨床実習	2		
	診療画像解析学	診療画像解析学Ⅰ	2		
		診療画像解析学Ⅱ	2		
		診療画像解析学Ⅲ	2		
		診療画像解析学演習		1	
		診療画像解析学実習Ⅰ	1		
		診療画像解析学実習Ⅱ	1		
		診療画像解析学実習Ⅲ	1		
		診療画像解析学特論	2		
		医療放射線機器学Ⅰ	2		
		医療放射線機器学Ⅱ	2		
		医療放射線機器学Ⅲ	2		
		診療画像解剖学Ⅰ	2		
		診療画像解剖学Ⅱ	2		
		診療画像解析学臨床実習Ⅰ	2		
	診療画像解析学臨床実習Ⅱ	2			
	核医学検査技術学	核医学検査技術学Ⅰ	2		
核医学検査技術学Ⅱ		2			
核医学機器工学		2			
核医学検査技術学演習			1		
核医学検査技術学実習		1			
核医学検査技術学臨床実習		2			
放射線治療技術学	放射線治療技術学Ⅰ	2			
	放射線治療技術学Ⅱ	2			
	放射線治療機器工学	2			
	放射線腫瘍学	2			
	放射線治療技術学演習		1		
	放射線治療技術学実習	1			
	放射線治療技術学臨床実習	2			
医療画像情報学	医療画像情報学Ⅰ	2			
	医療画像情報学Ⅱ	2			
	放射線情報システム学	2			
	医療画像情報学演習		1		
放射線安全管理学	放射線安全管理学	2			
	診療放射線技師の義務と役割	1			
	放射線関係法規	1			
	医療安全管理学	2			
総合領域	放射線科学特別講義		1		
	診療放射線学総合演習	2			
	診療放射線技術と研究	1			
	診療放射線学研究Ⅰ	1			
	診療放射線学研究Ⅱ	4			

保健科学部 臨床工学科

領域		授業科目	単位数		卒業に必要な単位数			
			必修	選択				
教養科目群	人と社会及び自然の理解	心身の発達	心理学 教育学 教育心理学 健康スポーツ理論 健康スポーツ実技	2	2 2 1 1	23 単位以上		
		思想及び表現	生命倫理 哲学 現代文学 人間と宗教 芸術	2	2 2 2 2			
		人間と生活及び社会のしくみ	法学(日本国憲法含む) 社会学 生活文化と医療 経済学 地域ボランティア活動論		2 2 2 2 1			
		自然の原理及び環境	環境学 生物学A 生物学B 数学A 数学B 化学A 化学B 物理学A 物理学B	1 1 1 1 1	2 1 1 1 1 1			
		英語	英語リーディング 医療英語会話 医療英語リーディング 英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング	1 1 1	1 1			
			初修外国語	中国語 コリア語 ドイツ語 ポルトガル語			1 1 1 1	
				情報	情報処理 情報リテラシー 囲碁で学ぶ情報戦略		1	1 1
		共通基盤科目群			大学の学び入門 大学の学び-専門への誘い- 多職種理解と連携		1 1 1	

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門基礎科目群	人体の構造及び機能	解剖学Ⅰ	1		19 単位以上
		解剖学Ⅱ	1		
		生理学Ⅰ	1		
		生理学Ⅱ	1		
		病理学	1		
		薬理学	1		
		生化学	1		
		公衆衛生学	2		
	臨床工学に必要な医学的基礎	医学概論	1		
		基礎医学実習	1		
		看護学概論	1		
		臨床生理学	1		
		臨床病理学	1		
		臨床薬理学	1		
		臨床生化学	1		
		臨床免疫学	1		
臨床心理学			1		
臨床検査学総論			2		
臨床神経生理学		2			
臨床工学に必要な理工学的基礎	応用数学	2		24 単位	
	応用数学演習	1			
	医用電気工学	2			
	医用電気工学実習	1			
	医用電子工学	2			
	医用電子工学実習	1			
	計測工学	2			
	医用材料工学	2			
臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎	医用機械工学	2			
	医用機械工学演習	1			
	医療情報処理工学	2			
	医療情報処理工学演習	1			
	システム工学	2			
	システム工学演習	1			
	医用情報通信工学	1			
	基礎工学実験	1			

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門科目群	医用生体工学	医用工学概論	1		62 単位以上
		医用超音波工学	1		
		放射線工学概論	1		
		医用レーザー工学		2	
		医用画像処理工学		2	
		生体物性工学	2		
		人間工学	2		
	医用機器学	医用機器学概論	2		
		医用治療機器学	2		
		医用治療機器学実習	1		
生体計測装置学		2			
生体計測装置学実習		1			
生体機能代行技術学	生体機能代行装置学Ⅰ	2			
	生体機能代行装置学Ⅱ	2			
	生体機能代行装置学実習	1			
	呼吸療法装置学	2			
	呼吸療法装置学実習	1			
	体外循環装置学	2			
	体外循環装置学実習	1			
	血液浄化療法装置学	2			
血液浄化療法装置学実習	1				
医用安全管理学	医用機器安全管理学Ⅰ	2			
	医用機器安全管理学Ⅱ	2			
	医用機器安全管理学実習	1			
	医療安全工学		2		
	関係法規	1			
臨床医学 関連	臨床医学総論Ⅰ	2			
	臨床医学総論Ⅱ	2			
	臨床医学総論Ⅲ	2			
	救急救命医学		2		
臨床実習	臨床実習Ⅰ	4			
	臨床実習Ⅱ	3			
臨床工学の 統合と探求	臨床工学総合演習Ⅰ	2			
	臨床工学総合演習Ⅱ	2			
	臨床工学英文講読		2		
	臨床工学研究セミナー		2		
	卒業研究	4			

リハビリテーション学部 理学療法学科

領域		授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
			必修	選択	
教養科目群	人と社会及び自然の理解	心身の発達	心理学	2	
			教育学		2
			教育心理学		2
			健康スポーツ理論		1
			健康スポーツ実技	1	
		思想及び表現	生命倫理	2	
			哲学		2
			現代文学		2
			人間と宗教		2
			芸術		2
		人間の生活及び社会の理解	法学(日本国憲法含む)		2
			家族社会学		2
生活文化と医療			2		
経済学			2		
人工知能・ロボットと社会	2				
地域ボランティア活動論			1		
人間関係・コミュニケーション	1				
自然の原理及び環境	環境学		2		
	基礎生物学		1		
	生物学		1		
	基礎数学	1			
	基礎統計学	1			
	基礎化学		1		
	化学		1		
	基礎物理学	1			
	物理学	1			
情報と言語の理解	英語	英語リーディング	1		
		医療英語会話	1		
		医療英語リーディング	1		
		英語会話		1	
	初修外国語	中国語		1	
		コリア語		1	
		ドイツ語		1	
		ポルトガル語		1	
	情報	情報処理	1		
		情報リテラシー		1	
データサイエンス入門			1		
共通基盤科目群	大学の学びの基盤	大学の学び入門	1		
		大学の学び-専門への誘い-	1		
		多職種理解と連携	1		

26 単位以上

領域		授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
			必修	選択	
専門基礎科目群	人体の構造と機能及び心身の発達	運動器解剖学 臓器解剖学 局所解剖学（言語・聴覚・発声・嚥下） 解剖学演習 表面解剖学と触診法 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習 生化学 運動学 臨床運動学 運動学実習 人間発達学 生涯発達心理学 学習・認知心理学 心理測定法 行動科学とリハビリテーション	2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1	1	18 単位以上
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学 薬理学 臨床薬学 公衆衛生学 臨床検査・画像診断学演習 臨床医学関連領域論 内科学 整形外科学 神経内科学 精神医学 小児科学 リハビリテーション医学 救急・免疫・感染症学 栄養学 緩和医療学	2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 2 1 1 2		19 単位
	保健医療福祉と リハビリテー ションの理念	リハビリテーション概論 チーム医療とリハビリテーション 臨床心理学 安全管理 医療統計学 社会福祉・地域サービス論	1 1 1 1 1 1		6 単位

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
		必修	選択	
基礎理学療法学	理学療法概論	1		7 単位以上
	障害と理学療法	1		
	理学療法総合演習	1		
	理学療法研究論	1		
	障害者スポーツ・レクリエーション論		1	
	生体計測工学	1		
	支援工学		1	
	国際理学療法学		1	
	事例研究法		1	
	卒業研究		2	
理学療法管理学	理学療法管理学	2		2 単位
理学療法 評価学	理学療法診断学	1		6 単位
	基礎理学療法診断学演習	1		
	運動機能系理学療法診断学演習	1		
	神経機能系理学療法診断学演習	1		
	内部機能系理学療法診断学演習	1		
	高次脳機能評価学	1		
理学療法治療学	基礎運動療法	1		23 単位以上
	運動機能系理学療法治療学演習	1		
	脊髄疾患理学療法学演習	1		
	神経機能系理学療法治療学演習Ⅰ	1		
	神経機能系理学療法治療学演習Ⅱ	1		
	内部機能系理学療法治療学演習	1		
	身体活動学	1		
	発達支援理学療法学	1		
	理学療法関連領域論	1		
	物理療法学	2		
	物理療法学演習	1		
	装具学	2		
	義肢学	2		
	スポーツ理学療法学	1		
	日常生活活動学	2		
	高齢者理学療法学演習	1		
	リハビリテーション栄養学	1		
	福祉機器論		1	
	作業療法理論		1	
	就労支援技術論		1	
災害保健学		1		
地域理学療法学	地域理学療法学	1		4 単位以上
	地域リハビリテーション学	1		
	生活環境学	2		
	国際保健学		1	
臨床実習	見学実習	1		23 単位
	評価学実習	5		
	地域理学療法実習	1		
	総合臨床実習Ⅰ	8		
	総合臨床実習Ⅱ	8		

リハビリテーション学部 作業療法学科

領域		授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
			必修	選択	
教養科目群	人と社会及び自然の理解	心身の発達	心理学	2	
			教育学	2	
			教育心理学		2
			健康スポーツ理論		1
			健康スポーツ実技	1	
		思想及び表現	生命倫理	2	
			哲学		2
			現代文学		2
			人間と宗教		2
			芸術		2
人間の生活及び社会の理解	法学(日本国憲法含む)		2		
	家族社会学		2		
	生活文化と医療		2		
	経済学		2		
	人工知能・ロボットと社会	2			
	地域ボランティア活動論		1		
	人間関係・コミュニケーション	1			
自然の原理及び環境	環境学		2		
	基礎生物学		1		
	生物学		1		
	基礎数学		1		
	基礎統計学	1			
	基礎化学		1		
	化学		1		
	基礎物理学		1		
	物理学		1		
情報と言語の理解	英語	英語リーディング	1		
		医療英語会話	1		
		医療英語リーディング	1		
		英語会話		1	
	初修外国語	中国語		1	
		コリア語		1	
		ドイツ語		1	
		ポルトガル語		1	
	情報	情報処理	1		
		情報リテラシー		1	
データサイエンス入門			1		
共通基盤科目群	大学の学びの基盤	大学の学び入門	1		
		大学の学び-専門への誘い-	1		
		多職種理解と連携	1		

29 単位以上

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門基礎科目群	人体の構造と機能及び心身の発達	運動器解剖学 臓器解剖学 局所解剖学（言語・聴覚・発声・嚥下） 解剖学演習 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習 運動学 運動学実習 生化学 人間発達学 生涯発達心理学 学習・認知心理学 心理測定法 行動科学とリハビリテーション	2 2 1 1 2 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1	1 2 2 2 1	17 単位以上
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学 薬理学 臨床薬学 公衆衛生学 臨床検査・画像診断学演習 臨床医学関連領域論 内科学 整形外科学 神経内科学 小児科学 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ リハビリテーション医学 救急・免疫・感染症学 栄養学 緩和医療学	2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 2	1	19 単位以上
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論 チーム医療とリハビリテーション 臨床心理学 社会福祉・地域サービス論 医療統計学	1 1 1 1 1		5 単位

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門科目群	基礎作業療法学	作業療法学概論	1		7 単位以上
		基礎作業学	1		
		基礎作業学演習	1		
		基礎作業学実習	1		
		生体計測工学		1	
		作業療法学研究法演習	1		
		事例研究法		1	
		卒業研究		2	
	作業療法管理学	作業療法管理学Ⅰ	1		2 単位
		作業療法管理学Ⅱ	1		
	作業療法評価学	作業療法評価学	2		5 単位
		作業療法評価学演習	1		
		作業療法評価学実習	1		
		作業療法総合評価演習	1		
作業療法治療学	身体領域の作業療法学	2		19 単位	
	身体領域の作業療法学実習	1			
	認知機能作業療法学	1			
	精神領域の作業療法学	2			
	精神領域の作業療法学実習	1			
	発達領域の作業療法学	1			
	発達領域の作業療法学演習	1			
	老年期の作業療法学	1			
	内部障害作業療法学	1			
	作業療法理論	1			
	作業療法リーズニング	1			
	義肢装具学	1			
	日常生活活動学	1			
	日常生活活動学実習	1			
	作業療法総合演習	1			
	就労支援技術論	1			
リハビリテーション栄養学	1				
地域作業療法学	地域作業療法学	1		5 単位以上	
	生活環境学	1			
	福祉機器論		1		
	支援工学		1		
	国際保健学		1		
	災害保健学	1			
	地域リハビリテーション学	1			
	見学実習	2			25 単位
作業療法基礎実習Ⅰ	3				
作業療法基礎実習Ⅱ	3				
総合臨地実習Ⅰ	8				
総合臨地実習Ⅱ	8				
地域臨地実習	1				

リハビリテーション学部 言語聴覚学科

領域		授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
			必修	選択	
教養科目群	心身の発達	心理学		2	29 単位以上
		教育学		2	
		教育心理学		2	
	思想及び表現	健康スポーツ理論	1		
		健康スポーツ実技	1		
		生命倫理	2		
		哲学		2	
		現代文学		2	
	人和社会及び自然の理解	人間と宗教		2	
		芸術		2	
人間の生活及び社会の理解		法学(日本国憲法含む)		2	
		家族社会学		2	
		生活文化と医療		2	
		経済学		2	
		人工知能・ロボットと社会	2		
地域ボランティア活動論		1			
人間関係・コミュニケーション	1				
自然の原理及び環境	環境学		2		
	基礎生物学		1		
	生物学		1		
	基礎数学		1		
	基礎統計学	1			
	基礎化学		1		
	化学		1		
	基礎物理学		1		
	物理学		1		
情報と言語の理解	英語	英語リーディング	1		
		医療英語会話	1		
		医療英語リーディング	1		
		英語会話		1	
	初修外国語	中国語		1	
		コリア語		1	
		ドイツ語		1	
		ポルトガル語		1	
	情報	情報処理	1		
		情報リテラシー		1	
データサイエンス入門			1		
共通基盤科目群	大学の学びの基盤	大学の学び入門	1		
		大学の学び-専門への誘い-	1		
		多職種理解と連携	1		

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門基礎科目群	基礎医学	医学概論	1		6 単位
		解剖学総論	1		
		局所解剖学（言語・聴覚・発声・嚥下）	1		
		基礎生理学	1		
		基礎病理学	1		
		医療危機管理（窒息・誤嚥・吸引含む）	1		
	臨床医学	内科学	1		10 単位
		小児科学	1		
		精神医学	1		
		リハビリテーション医学	2		
		リハビリテーション関連領域実技実習	1		
		耳鼻咽喉科学	1		
		神経内科学	1		
形成外科学		1			
脳神経外科学	1				
臨床歯科医学	歯科・口腔外科学	1		1 単位	
音声・言語・聴覚医学	口腔運動医学	1		3 単位	
	言語医学	1			
	聴覚医学	1			
心理学	臨床心理学	1		7 単位	
	生涯発達心理学	2			
	学習・認知心理学	2			
	心理測定法	2			
言語学	言語学	2		2 単位	
音声学	音声学	2		2 単位	
音響学	音響音声学	1		2 単位	
	聴覚心理学	1			
言語発達学	言語発達学	2		2 単位	
社会福祉・教育	ICF とリハビリテーション	1		6 単位以上	
	AAC と教材学	1			
	臨床スキル論	1			
	リハビリテーション経済学		1		
	チーム医療とリハビリテーション	1			
	地域社会学		1		
社会福祉制度・関連法規	1				

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門科目群	障害学総論 言語聴覚	言語聴覚障害学概論 言語聴覚障害学演習 言語聴覚障害学診断学 言語聴覚障害臨床論 地域リハビリテーション学 地域参加支援総論	1 1 1 1 1 1		6 単位
	失語・高次脳機能障害学	失語症学 高次脳機能障害学 失語・高次脳機能障害評価法 失語・高次脳機能障害支援論	2 2 2 2		8 単位
	言語発達障害学	言語発達障害学 言語発達障害評価法 言語発達障害支援論	2 2 2		6 単位
	運動系障害学	病理音声学 発声発語・嚥下障害評価法 器質性・機能的発話障害支援論 運動性発話障害支援論 非流暢性発話支援論 摂食・嚥下障害支援論	2 2 2 2 1 2		11 単位
	聴覚障害学	聴覚障害学 聴覚検査法 聴覚補償 先天性聴覚障害支援論 後天性聴覚障害支援論	2 2 1 2 1		8 単位
	演習	地域参加支援演習Ⅰ 地域参加支援演習Ⅱ 聴覚障害演習 運動系障害演習 言語系障害演習 小児系障害演習 卒業研究	2 2	2 2 2 2 3	11 単位以上
	臨床実習	見学実習 観察実習 評価実習 統合実習	1 3 6 6		16 単位